

**工事写真チェックリスト**  
 (標識看板の内容やスケール目盛等が判読できるように撮影されていること)

		チェック項目	✓欄
<input checked="" type="checkbox"/>	1 着工準備	浄化槽設備士が工事を実地に監督している、または自ら工事を行っているか。	
		浄化槽設備士が実地に監督していることを証する写真	
		①浄化槽の設置場所	
		②浄化槽設備士は正面を向く	
		③標識看板を掲げる	
	④背景に工事を行う場所の周辺状況(地面・家屋等)とともに写す		
	2 掘削工事	基礎を施工するため、所定の深さまで掘削が済み、規定面通りに仕上げられているか。	
		床付けの完了状況を示す写真	
		標識(工事場所、日時、工程を表示)とともにスケール等の機材も写す	
	<input type="checkbox"/>	3 基礎工事 (基礎底板コンクリート)	栗石地業が適正に行われているか。
基礎採石敷設転圧工事状況を示す写真			
ランマ等の機材で転圧作業を行っているところを写す			
栗石地業後、捨てコンクリートを所定の厚さで打っているか。			
基礎工事の状況を示す写真			
栗石つき固め終了後、深さの分かるスケールとともに写す 砕石:100mm以上、捨てコンクリート:50mm以上			
基礎底板コンクリートに、配筋がされているか。			
基礎工事の配筋状況を示す写真			
型枠・配筋の状態、ピッチが分かるスケールとともに写す 鉄筋:D10-@200シングル(D異形鉄筋、@~ピッチ幅)			
基礎底板コンクリートが所定の厚さに打設されているか			
基礎底板コンクリートの状況を示す写真			
コンクリート養成後、コンクリート厚の分かるスケールとともに写す コンクリート厚:150(100)mm以上			
<input type="checkbox"/>	3 基礎工事 (軽量基礎底板)	栗石地業が適正に行われているか。	
		基礎採石敷設転圧工事状況を示す写真	
		ランマ等の機材で転圧作業を行っているところを写す	
		軽量基礎底板は申請された仕様のものか。	
		①基礎底板の全体写真	
		寸法が確認できるようスケール等の機材とともに写す	
		②基礎底板の製品名または型番の印字箇所	
		判読可能な距離で写す	
		軽量基礎底板は適切に据付けられているか。	
		軽量基礎底板据付状況を示す写真	
水平が確認できるよう水準器等の機材とともに写す			
※軽量基礎底板は以下の書類(2種類)を実績報告書へ追加添付。			
①	使用する軽量基礎底板の「製品仕様書」		
②	使用する軽量基礎底板の「構造計算書」		

4 据付 工事	設置申請通りの人槽・処理方式であるか	
	浄化槽本体及び浄化槽搬入状況を示す写真	
	浄化槽の搬入状況、メーカー・型式・人槽が判読できる写真	
	水張りを行い、水平を保ちつつ、水じめ及び突き固めを行っているか。	
	据付工事の状況を示す写真(以下の道具等が写っている)	
	ア. 本体の水平を確認するための水準器	
	イ. 埋め戻しの高さを示すスケール	
	ウ. 水張り及び水じめに用いるホース	
	エ. 突き固め用の器具、埋め戻しに用いている土砂	
	バルブ操作などの維持管理を、容易に行うことができるか。	
かさ上げの状況を示す写真		
バルブ上端からマンホール蓋までの距離が分かるようスケールを当てた写真 バルブ上端～マンホール蓋:30cm以内(30cm超→要ピット構造)		
5 上 部 ス ラ ブ 工 事	上部スラブコンクリートに、配筋がなされているか。	
	上部スラブコンクリートの配筋状況を示す写真	
	配筋の状況を、ピッチが分かるスケールとともに写す 鉄筋:D10-@200シングル	
	上部スラブコンクリートが打たれているか、その厚さは適当か。	
上部スラブコンクリートの打設状況を示す写真		
コンクリートの養生を、コンクリート厚が分かるスケールとともに写す コンクリート厚:80mm～150mm前後		
6 片 付 け	浄化槽の工事終了後の残土処理、後片付けが適正に行われているか。	
	浄化槽上部、周囲の状況から浄化槽工事の竣工を示す写真	
	浄化槽の上部、周囲の状況から、残土処分や後片付け等、工事の終了が確認できる。竣工を確認した浄化槽設備士が写っていることが望ましい。	